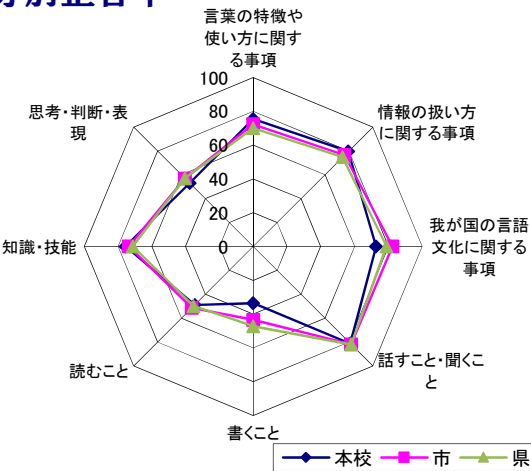


宇都宮市立桜小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	75.5	72.3	70.0
	情報の扱い方にに関する事項	79.6	76.4	74.9
	我が国の言語文化に関する事項	72.7	82.4	78.9
	話すこと・聞くこと	81.3	81.9	82.0
	書くこと	33.5	43.5	47.2
	読むこと	48.9	51.4	49.8
観点	知識・技能	75.6	73.6	71.3
	思考・判断・表現	53.1	57.1	57.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	平均正答率は、市の平均より高い。 ○第4学年で学習した漢字の読み書きの正答率が県・市よりも高い。授業中のみならず、朝の学習や宿題などで繰り返し漢字の学習をしている成果であると考えられる。 ●修飾と被修飾の関係を捉えることに課題が見られる。	・漢字については、今後も引き続き、朝の学習や宿題などで繰り返し学習して定着を図る。 ・物語や説明文の学習において、修飾語や被修飾語の関係について着目させながら文章の組み立てを理解できるよう指導していく。
情報の扱い方にに関する事項	平均正答率は、市の平均より高い。 ○漢字辞典の使い方と漢字の画数やつくりについてよく理解できている。漢字辞典の使い方を丁寧に指導し、日頃から様々な索引で漢字を調べる学習をしている成果であると考えられる。	・漢字辞典を日常的に活用する機会を増やしていく。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は、市の平均より低い。 ●ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることに課題が見られる。	・ことわざの本を教室に設置したり、ことわざに関する本の紹介をする活動を行ったりするなど、日本の言語文化に触れる機会を増やしていく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均よりやや低い。 ○話し手の伝えたいことを読み取ったり、意見の共通点に着目して考えをまとめたりすることはよくできている。 ●理由を挙げながら自分の考えを書くことに課題が見られた。書き方として3つの条件が挙げられ、その全てを満たして書くことが難しかったと考えられる。	・話し合う活動の機会を増やすと共に、話し合いの仕方やポイントを明確に示したり、自分の考えや友達の考えを書いてまとめる活動をしたりすることで、話し合いの面白さや良さを感じられるようにしていく。
書くこと	平均正答率は、市の平均より低い。 ●2段落構成で内容の中心を明確にし、自分の考えを書くことに課題が見られた。注意する点として4つの条件が挙げられており、話すこと・聞くことの問題と同様に、条件の意味を理解し、全ての条件を満たして書くことが難しかったと考えられる。また、無回答率も25%と高く、書くことへの苦手意識が感じられる。	・学習のまとめや振り返りを中心に、授業の中で自分の考えを書く活動を増やしていく。 ・読み取った内容について自分の考えをまとめる際には、情報の整理の仕方や自分の考えのまとめ方、文章の組み立て方などを具体的に示し、進んで書く活動に取り組めるように指導していく。
読むこと	平均正答率は、市の平均より低い。 ○物語の登場人物の性格や気持ちの変化を読み取ることは、市の平均より高い。授業の中で登場人物に着目して丁寧に読み取りを行っている成果であると考えられる。 ●説明文を読み取る問題では、全ての問題で市の平均より低い。	・文章を読み取る際には、キーワードとなる言葉や登場人物の心情の変化に着目させたり、段落やまとめ、場面の移り変わりなどに注意しながら読み取るよう指導していく。 ・読書の時間を確保し、幅広い分野の本に触れる機会を増やしていく。